

民俗芸能伝承に係る取組状況

(ふりがな) 民俗芸能名	(るもいいわとかぐら ) 留萌岩戸神楽		
保存団体名	留萌市岩戸神楽保存会		
保存会員数の推移 (うち小・中・高生)	H20. 10	H25. 10	H30. 10
	40人 ( 9人 )	36人 ( 8人 )	30人 ( 6人 )
子どもたちに対する伝承活動の内容  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; display: inline-block;">         これまでの経過          取組内容          取組体制          学校との連携          保護者との連携          指導方法          指導会場          指導頻度          などを記入       </div>	取組内容…踊り、歌、囃子の稽古等 学校・保護者との連携…なし 指導方法…会員同士での稽古 笛、太鼓などの経験者から、若手会員への直接指導 指導会場…コミュニティーセンター 指導頻度…祭りや催しごとに集まり都度稽古を行う		
伝承活動を継続する上での工夫	依頼があれば積極的にイベントや催し等に出演し、岩戸神楽の積極的な周知活動に努めている。		
伝承活動を継続する上での課題	若い世代の会員数の減少により、後継者不足であること。 地域の過疎化により祭りの行事自体がさびれ、市民全体の興味が薄れてしまっていること。		
発表機会 ※年間の発表回数と発表会場を記入 (過去3年分)	留萌神社祭での発表 (毎年) 老人ホーム等施設での発表 (29年度3回程度)		